

財団法人京都ボーイスカウト振興会  
平成 23 年度 事業報告

1. 総括

平成 24 年度は一般財団法人への移行年度となることから、平成 23 年度は特例財団法人として事業を営む最後の年度となりました。平成 23 年度は、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(4)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業を実施しました。

ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業については、日本ボーイスカウト京都連盟が行う、全 6 回のボーイスカウト講習会及び全 2 回のウッドバッジ実修所・研修所への助成協力として、1,300 千円を支出しました。

青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業においては、広河原野営場の簡易宿泊施設の電気工事として、1,030 千円の整備委託費を支出しました。また、当法人が所有し、無償提供している広河原野営場の使用状況としては、主に日本ボーイスカウト京都連盟のスカウトメンバーとそれ以外の方々を対象者に全 9 回（使用日数 22 日間、使用のべ人数 408 名）の使用実績となりました。

一方、財源の確保を図るべく、賛助会員の方に継続的な援助をお願いしておりますが、平成 23 年度の受取会費は、2,230 千円と前年度と比較して、450 千円の減少となりました。

2. 事業報告の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

日本ボーイスカウト京都連盟

(イ) 助成の使途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要な経費

① ボーイスカウト講習会

名称	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回
日程	4/24	6/5	6/26	9/25	10/10	11/6	3/18
会場	京都連盟 会議室	中止	宇治市 中央 公民館	本門 仏立宗 本山 宥清寺	西京 区役所 洛西支所	舞鶴市 中総合 会館	京都市立 明德 小学校

② ウッドバッジ実修所・研修所

名称	WB 研 BS 京都第 33 期	WB 研 CS 京都第 34 期
期間	5/1～4	5/1～4
会場	広河原野営場	京都市静原キャンプ場

(ウ) 助成実績

1,300 千円

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

(ウ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

対象者・使用者等	使用月日	使用人数	備考
山開き	4/2-3	50	イベント委員会
WB 研修所開設	4/30-5/4	149	参加者、所員、奉仕者
京都第 90 団	5/7-8	23	RS 隊
京都第 37 団	6/11-12	26	BS 隊
野営場整備	7/16-17	32	イベント委員会
京都第 5 団	8/12-14	39	CS 隊、BS 隊、保護者
冬こもり	12/3-4	24	イベント委員会
京都第 29 団	9/23-25	42	BS 隊
京都第 92 団	2/12	23	CS 隊、BS 隊
合計	22 日	のべ 408 名	

(エ) 事業実績

1,030 千円 (野営場の簡易宿泊施設にかかる電気工事費)

(オ) 広河原野営場近隣において舎営施設の取得

今後、広河原野営場の近隣に舎営施設を取得する予定です。現時点の計画では、建物延床面積 60 坪、敷地土地面積 100 坪、総投資額約 40,000 千円を予定。建物及び建物付属設備の取得価額を 30,000 千円と見込んだ場合には、事業費として、減価償却費を通じて約 1,380 千円増額 (定額法、耐用年数 22 年、年償却率 0.046) する予定となっています。

平成 23 年度についても、野営場の近隣土地等の所有者に対して、取得に向け、

継続的な話し合いを進めてきました。しかし、土地等の所有者において、売却する意思が未だ固まっていないため、引き続き、継続的な話し合いを進める予定です。

(3) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等

(イ) 社会に役立つ事業活動支援

一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業（アウトドアチャレンジ）  
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕

(ウ) 環境まち美化活動支援

「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(4) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

(ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促しました。

(イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行いました。

(ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼しました。

(エ) 事業実績

462 千円

（普及宣伝費 24 千円、ホームページ運営改革費 399 千円、通信運搬費 39 千円）

3. 財源の確保

賛助会員受取会費については、平成 23 年度は 2,230 千円であった。22 年度（2,680 千円）から 450 千円の減少となった。今後は既存維持会員の方に継続的な援助をお願いするとともに、新たに経済界、有識者の方に加わっていただき、青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるように努力するとともに、当法人及び京都連盟関係者の方々も振興会維持会員の勧誘活動に一層のご協力をお願いする次第です。

以上